

途上国の素材・手仕事×先進国のデザイン 「エシカル・ベネロープ」がオープン

4月1日、テレビ塔1階に期間限定(12/31まで)で、私がプロデュースするエシカル・ファッション&フェアトレードのセレクトショップ「エシカル・ベネロープ」がオープンしました！ 途上国の素材・手仕事×先進国のデザイン力の融合で生み出された魅力溢れる品を手にとってご覧いただけます。



エチオピアで買い付け中。薪運びの女性のショールはカラフル！

例えば、エチオピアから届く「薪運びの女性の手織りショール」。エチオピアでは大量の薪を背負って歩いている女性をよく見かけます。首都アジス・アベバでは15,000人以上もの女性たちが燃料供給のために毎日30kmを歩いて山で薪を集め、35kgの薪を背負って市場まで運ぶのです。その重労働、想像してみてください。

彼女たちが機を織る技術を学んでショールを売ること、薪を運ばなくても暮らしていける方法を見つけました。自らの手で生活を向上させ、子どもたちを学校へ行かせることもできるようになったのです。

フランスからは、チュニジアに仕事を創出しているフランス

人デザイナーによる「オキシデント」というブランド。自然を愛してモラルを守り、シックでエキゾチックなハンドメイドです。オーガニック素材にキュートなプリントで、自然との調和を考え、伝統的な手仕事を維持しています。

エシカル・ファッションとは、良心を大事にしたファッション。自然環境に負担をかけない持続可能なオーガニック・リサイクル素材を使い、小規模農家や手工芸品職人などが正しい労働条件の下に地域の伝統・技術を継承してクリエートされるものです。もちろん魅力的なデザイン、高品質であることも大事。途上国支援のためだけでなく、商品に魅力があって買い続けたいデザインが必要です。エシカルやフェアトレードに気を配る方のみならず、純粋にファッションを楽しみたい方にも届けるため、クリエイターたち

のデザイン力が生かされます。デザインや品質に引かれて選んだモノが、公正な背景を持ち、生産者にも地球環境、社会にも優しいものであれば、きっと未来は良い方向へ進みます。

＜お知らせ＞ 5月14日(土)は世界フェアトレード・デー。名古屋でもSMBCパーク栄をメイン会場にフェアトレード・ファッションショー&トーク&ライブが開催(*1)。ナディアパークでは栄ミナミ音楽祭のステージで大学生がアクト、テレビ塔「エシカル・ベネロープ」前ではフェアトレード・マーケットと3会場を拠点に「お買い物で世界を変える」フェアトレードを街ぐるみで盛り上げます。

プロフィール……………
はらださとみ
(タレント・エシカルコーディネーター)

エシカル・ファッションの普及活動を中心に、フェアトレードタウン推進に取り組む。フェアトレード&エシカル商品の輸入販売「エシカル・ベネロープ」代表。国際協力機構「ICA中部なごや地球ひろばオフィシャル・サポーター、親子向けの絵本読み聞かせの会「ループ」主宰など幅広く活動中！
<http://satomiharada.com>



(*1) 13:00~17:00、ファッションショー&トークはジョン・ギャスライト氏&原田さとみ。「世界フェアトレード・デー・なごや2011」は私が世話人を務める「フェアトレードタウンなごや推進委員会」の主催です